



上野 秀喜 相談員
(菅尾) ☎ 83-0383

YOU&YOU通信 vol.177

～結婚相談員紹介～

結婚相談員の上野です。私も YOU&YOU で妻と知り合い結婚しました。交流会に参加した経験者として少しでもお力になれたらと思っています。交流会になかなか参加できない方、交流会が苦手な方、YOU&YOU では個人紹介も行われています。個人紹介で結婚された方、交際をスタートされた方もいます。ぜひ、参加・登録してみてください。

～交際カップルの声～

個人紹介後、意気投合。交際中のカップルにインタビューを行いました。お二人の声をお届けします。

♡ YOU&YOU に参加したきっかけは？♡

Yさん：出会いのきっかけがなく。
Xさん：良い出会いがあればと思います。

♡現在の心境は？♡

Yさん：登録して良かったです。
Xさん：思いきって登録して良い方と出会えて幸せです。

男性：Yさん(41歳)

女性：Xさん(41歳)

楽しみながら“素敵な出会い”を探してみませんか？
素敵なパートナーとの出会いは、あなたの勇気ある一歩から始まります！

問合せ YOU&YOU 事務局 (山の都創造課内) 坂元・吉田
【電話番号】 72-1158 【専用電話】 090-9565-9589
【専用アドレス】 marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp

会員登録はこちらから



わたしたちの
人権 207

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権作文の紹介 (令和三年度)

今月は、蘇陽中学校 三年(当時) 飯干愛心さんの作文をご紹介します。

「わたしの選択から考える」
私は、一学期の人権学習で「わたしの選択」という教材をもとに学習をしました。この教材を読んで、私はおかしいと感じるところが二つありました。

一つ目は、「頭のいい人は、頭のいい高校に行く」という考えです。登場人物のタカコさんは、旭農高という農業高校を受験しようと考えています。しかし、父親から「隣近所の笑われ者になるから、女はいい高校に行つて卒業するべきだ。」という理由で、旭農高への進路希望を反対されてしまいます。この部分について、私をはじめに思ったことは、高校でその人の値打ちを決めるのはおかしいということでした。タカコさんは成績がよく、まわりの友だち



からも、旭農高じゃ「もったいない」といわれます。しかし、その高校でよかつたかどうかを決めるのは、自分自身だと私は思います。「頭がいいからといって、頭のいい高校に行く」という考えは、とても苦痛だと思います。しかし、私自身にも、「頭のいい人は、頭のいい高校に行った方がいいのではないか」と思う時があります。その理由として、受験で合格するため「偏差値が高い」人が通っているイメージがあるからです。しかし、学習をして、タカコさんの友だちであるハルオさんの言っていた、「自分で納得できる、自分の生き方をつかみたい。」という言葉から、まわりの人が、その人の行く高校を、頭のいい、悪いで決めるのはおかしいと気づきました。こういう高校へのおかしい評価を変えていく必要があると思えました。

二つ目は、進学する高校で、その人の値打ちを決めるということ。今、私自身は、希望する二つの高校で、迷っています。一つは他県の高校だから、どちらも受験するということはできません。もう一つの高校は、今の私の成績のままでは、合格することが難しいと考えています。タカコさんが進学したいと考えている旭農高は、「成績が低い」人たちが進学する高校だと言われています。「成績のいい」タカコさんは、父親や母親、先生などから、別の高校に行くべきだと反対されます。私は、「成績の低い高校に行くのは反対だ。」と言っている父親の考え方はまがちがつている、おかしいと強く思いました。その高校が、いいか悪いかは、成績で決めるものではないと私は思います。タカコさんの将来の夢である園芸の仕事も、女性のすべきことじゃないという考え方も、おかしいと強く感じます。「成績の悪い」人たちは、「偏差値の高い高校」には行けない、「成績のいい」人たちは、「偏差値の低い」高校に行くのはもったいないなどの考えだけ、進学する高校の「いい、悪い」は決められないと思います。実際に、私も高校に対する偏見で、自分自身の進学する高校を決められるのは、とてもいやです。高校だけで、その人の値打ちを決めてしまうということが、少しでも減ってほしいと思います。

私には、ありがたいことに両親や祖母から、どちらの高校に行くことも反対はしないとされています。最近、志望校である二つの高校のうちの一つの高校のオープンスクールに行きました。その高校のオープンスクールには、同じ中学校から、希望する友だちも行きました。もう一つの志望校の他県の高校より、学ぶコースが多いところに魅力を感じました。しかし、それだけで進学先を決めるわけにはいきません。こんな中、どちらの高校に行くか迷っている私に、母がかけてくれた言葉があります。それは、「どちらの高校にもいいところはたくさんあるから、悪い高校なんてないんだよ。」という言葉です。私は、その言葉を聞いた時、深く共感しました。教材にも出てくるハルオさんの言っていた、「だれにいい高校、悪い高校って分ける資格があるんだらうかね？要は、本人がどんな高校生活を送るかが大事じゃないのかな！」という言葉と似ていると思えたからです。

やまと文化の森だより
企画展のご案内



※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。
好評開催中!! (最終日は 15:00 までの展示です)

6月の展示 (～6/30)

○九州脊梁の山と星の写真展&アウトドア展
九州脊梁の山と星を知り尽くした者たちの写真展。自然が織りなす神秘的な風景は心ふるえます。この感動をぜひ体感ください。



【併設展示】

- ・アウトドアの世界感を楽しめるキャンプベースを設置!!
 - ・ニホンカモシカの絶滅危惧周知のパネルも設置しています。
- 期間中、来場者の方へオリジナルのポストカードをプレゼント!!

7月の展示 (7/2～7/30)

○アイアンアートギャラリー作品展
造形作家の三島幸宏の作品展。
独特な世界観は鉄のイメージを変えてしまいます。素敵な作品をお楽しみください。



問合せ やまと文化の森 山都町下市 16 番地 ☎ 72-9400 開館時間 9:00～17:00 入館無料
休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日)、年末年始など